

松ぼっくり

◆ 国松石材株式会社

発行所 / 国松石材株式会社

創業地 福岡市博多区下呉服町8-35
 平尾店 福岡市中央区平和3-12-27(平尾霊園下)
 TEL 092-401-4194 / FAX 092-401-4189
 工場 福岡市東区松田3-16-12
 TEL 092-629-1189 / FAX 092-629-2043
 ホームページ <http://www.kunimatu.com>

2017年 春号

携帯電話のバーコード読み機能で「この図」→を撮影すると、携帯版ホームページ内の会社概要から、地図をご覧頂くことができます。



どすこい九州

横綱と神事



平成二十四年二月九日、大分県宇佐神宮にて「相撲の神様」と称される横綱双葉山の生誕百年記念式典が執り行われました。

天下泰平・五穀豊穰を願い感謝する神事として、日本の風土や農耕文化に根ざしてきた相撲。その起源は日本書紀にまで遡ります。

昨年の大震災からちょうど一年。今回は地鎮の願いを込め、国技とされる相撲の盛り返しを信じるべく、ここ九州博多との関わりを追ってみましょう。相撲といえば東京両国ですが、実は九州にも、結構繋がりがあつたのです。



↑ 第69代横綱白鵬関の土俵入り奉納：平成23年11月4日、相撲の神様として信仰厚い住吉神社(博多区)にて。横綱白鵬関、太刀持ち前頭旭天鵬関、露払い前頭安美錦関。

◆写真提供：筑前一之宮住吉神社様
◆限定承認：財団法人日本相撲協会様
(写真転載不可)

皆さまお馴染みの博多総鎮守櫛田神社。御本殿左側にある飾り山笠のさらに奥へと足を運んでみると、「力石」の立て札が目にとまります。そこには米俵弱程の楕円形の石が複数個。力石本来の由来は神霊が込められた巨石を持ち上げる事で豊凶・天候・武運等の神意をうかがう「石神の信仰」で用いられたといわれますが、櫛田神社では昔、卯日相撲が盛んに行われており、これらはその時代を代表する力士たちが持ち上げ、奉納されてきた石たちです。

一八三〇年(文政十三年)博多麴屋番に住んでいた怪力相撲取り飛梅が御歳六十一の時に奉納した力石や、平成十二年に御遷宮を記念して奉納された近年の力石。一つ一つを注意深く見てみると、歴代の錚々たる力士の名前が並んでいます。

千代の富士、貴乃花、曙に朝青龍：一番右上の石には『双葉山』の文字が刻まれています。



↑『双葉山』力石



↑櫛田神社「力石」群

○相撲の神様と称された横綱
現在無双の横綱白鵬関さえ成し得なかった、前人未到の六十九連勝記録を保持する第三十五代横綱双葉山定次は、一九一二年(明治四十五年※大正元年)二月九日、大分県宇佐郡天津村布津部(現大分県宇佐市大字下庄)に生まれました。



↑前人未到の69連勝記録を保持する第35代横綱双葉山。

『われ未だ木鶏たりえず』

七十連勝目を逃した時、寡黙な双葉山は静かに土俵を後にし、後日、己の心境をそう告げ、尚も勝星を上げ続けたといえます。

木鶏とは中国の故事に由来する言葉で、木彫りの鶏のように全く動じることのない最強の状態にある闘鶏をさしています。道に則した人物の隠喩として描かれ、真人(まこと)の道を体得した人物は他者に惑わされることなく、鎮座しているだけで衆人の範となるという意味があります。『心気体』を相撲道の理念とし、その哲学を多く後世に残した双葉山。

『稽古は本場所のいづく、本場所は稽古のいづく』後に親方となった双葉山が弟子たちに説いた言葉です。

しめなわ
○注連縄と横綱

昨年十二月四日、大分県宇佐神宮上宮。生誕百年記念の関連行事として、双葉山を尊敬してやまないという第六十九代横綱白鵬関による奉納土俵入りが実現しました。

白鵬関はこの時、所属する宮城野部屋伝統の不知火型ではなく、双葉山に敬意を表し雲龍型を披露しました。現代に残る土俵入りの型は、この雲龍型と不知火型に二分されます。

四股のせり上がり時に右手を差し出し、横綱の結び目が一輪なのが雲龍型、両手を広げてせり上がり二輪の結び目を持つのが不知火型とされています。

〈雲龍型〉
・双葉山
・大鵬
・千代の富士



〈不知火型〉
・白鵬



これらの型は第十代横綱雲龍久吉（一八二二文政五年、筑後国山門郡大和村）現柳川市出身／柳川立花藩お抱え力士と、第十一代横綱不知火光右衛門（一八二五文政八年、肥後国菊池郡陣内村）現熊本県菊池郡出身／肥後細川藩お抱え力士）双方の土俵入りが立派で美

しかったため、その名を残して共に受け継がれてきました。

また、大相撲の目下開山横綱がまとう注連縄は、そもそも自然物や「神体、もしくはその依り代に掲げられるものであり、横綱土俵入りの際脇に付く露払い役と太刀持ち役も、本来は神格的なものの道行から邪を払う役を担っていました。

なお、十両以上の関取衆がまとう化粧回しには、豪華な日本刺繍で硬く結べて肌触りも良い、正絹の博多織が多く重用されています。

○熊本の相撲宗家

天覧相撲や上覧相撲、これらの様式や作法および土俵礼式といった相撲故実・横綱免許の授与を司ってきたのは、吉田司家という熊本の一族でした。

平安末期から鎌倉時代初頭の後鳥羽天皇以来、相撲に関する全権を委ねられてきた吉田司家は相撲宗家、いわゆる行司の家系。代々「追風」の世襲名を名乗り、実に八百余年の歴史を誇りました。

両国国技館の創設者である第十五代横綱初代梅ヶ谷藤太郎（筑前国上座郡志波村梅ヶ谷）現福岡県朝倉市出身）も、一八八四年（明治十七年）この吉田司家による横綱認定を受けています。江戸期以降、幕府は相撲を勧進相撲としてその運営を寺社に委任し、近代に入ってから相撲協会が発足。娯楽

興業としての相撲が主となる一方で、吉田司家の影響は次第に薄れ、現在に至ります。

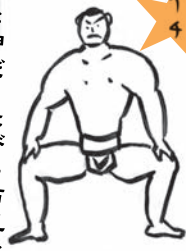
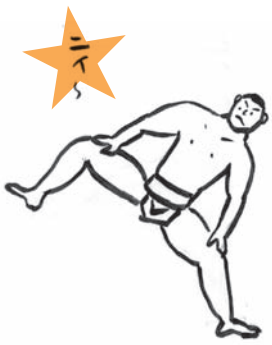
しこ
○四股の型

力士が踏む四股は、地中の邪気を踏み固め大地を鎮める神事から発した、土俵を清めるものです。またその姿勢は、膝や脚の指先を前方四十五度に向け、片足を交互に上げドシツと地面におろします。

これら一連の運動は足の裏側を刺激し、足腰が鍛えられます。最近その効用が科学的に解明されており、片足で立つことにより体のバランス能力も高まるため、全体の重心が安定し、冷え性にも有効なんだそうです。皆さまも健康維持を兼ね、ぜひ挑戦してみてください。（無理はなさらぬようお願いします。）

一、へまは右から腰を下ろしたまま左足に体重移動。

二、その左足の膝を伸ばしながら右足を上げ：左膝が伸びたところでしばし静止。



三、上がった右足でパシツと力強く大地を踏み固める。へ次は左足と繰り返す



◆出典／相撲健康体操（日本相撲協会指導普及部より）

※①本来相撲とは農耕民族である日本人が神に五穀豊穡を祈り、感謝し、その心を奉納する農耕儀礼の儀式が発展した神事。土俵に使われている俵は、その昔は米俵そのものだったといわれています。

※②横綱の別称としてしばしば用いられる目下開山の「目下」は天下。「開山」は元来仏教用語で、寺の開祖を指すものです。山を開いて寺院を創めた開祖。開祖転じて最高者を表す称となりました。

※③一九〇四年（明治三十七年）当時の名称は大相撲常設館。創設者梅ヶ谷は一八七六年（明治九年）福岡興行の際に秋月の乱に遭遇し平定に活躍したなど豪傑な逸話も多く、故郷の福岡県朝倉市原鶴温泉や杷木町梅ヶ谷には記念碑や銅像が建っています。



↑道の駅原鶴横の像は大相撲中興の祖＝横綱梅ヶ谷。台座の石種は何でしょう？

◆先着二名様に番付表をプレゼント！ご希望の方は返信葉書に一言お書き添えください。

あとがき

九州場所は十一月。まだまだ先にはありませんが、最寄りの寺社で始まる朝稽古見学や奉納土俵入りに「相撲道」の一端を学べます。―（設計課・山室牧子）



あの日、被災地で結んだ絆。 皆さんへご報告いたします。

～ 宮城県東松島市 被災墓地の修復支援ご報告 ～
(修復支援人員派遣期間：平成23年9月9日～9月19日)



東日本大震災発生から半年が過ぎようとしていた昨年9月。私たちは「東日本大震災お墓修復支援隊」として被災地へ向かっていました。移動日を含む11日間、東松島市にある尾形石材工業株さんのもと、作業にあたります。



工事課國松 工務部長宇津宮 尾形代表取締役 工事課主任高村

墓への影響も相当なもので、祈りを必要とする方々や、お世話になった尾形社長の温かい笑顔の底にあるお気持ちを考えると、とても言葉にならず、ただ黙々と作業にあたるだけで精いっぱいでした。

そのうちの5日間で4ヶ寺の墓地をまわり、16基のお墓を修復してまいりました。あちらこちらに残っている瓦礫の山、道路には亀裂がはいり、地震の凄まじさを物語っていました。お



敷地外に散乱した仏塔類を石種を頼りに収集します。

再建したお墓が、誰かの希望に繋がりますように。



東日本大震災発生から1年。いざという時に助け合える、絆を育んでいくこと。お墓を守るのはぼくたち石屋、全国共通の使命であることを確信した出来事でした。

国松 今 コレ

#02

「国松」で「今」こっそり楽しんでいる人物館「コレ」クジョン



①実は休みの日



②ご近所さん達と楽しく



③餃子パーティーしてます！

何をかくそう製品課仕上げ担当：土谷春子さんは、中国語をペラペラ操るバイリンガル。休日には餃子作りや太極拳を、ご近所さん達と楽しんでます。謎の美容茶の効能か？だいたいニコニコ。春子さん、今日も輝いてます☆

ど〜ん!!!

私たち松ぼっくり編集局女子をはじめ、社員全員で大切に拝見いたしております。



お便利紹介

このコーナーでは、皆様からお寄せいただいた大切なお便りの一部を、ご紹介させていただいております。

- ◆ 来年春のハイキングに参加します／福岡市中央区
- ◇ あっという間に定員に達してしまいう人のイベントです。早速同封ハガキにてお申し込み下さい。
- ◆ お墓を訪れるとほっとして何か落ち着くような気持ちになります。大切に守っていききたいです。／福岡市博多区
- ◇ お墓は大切なご先祖様、ご家族が安らかに眠られている聖域なのでしょね。
- ◆ 納骨室の収容能力が限界に近付いてきたときの対応は？／福岡市西区
- ◇ 亡くなられて五十年以上経つお骨は一つの骨壺にまとめることができます。その他納骨室の改修案などございますのでご相談下さい。〈お客様係…小田明子〉

今、お墓文化を知ることからはじめよう。

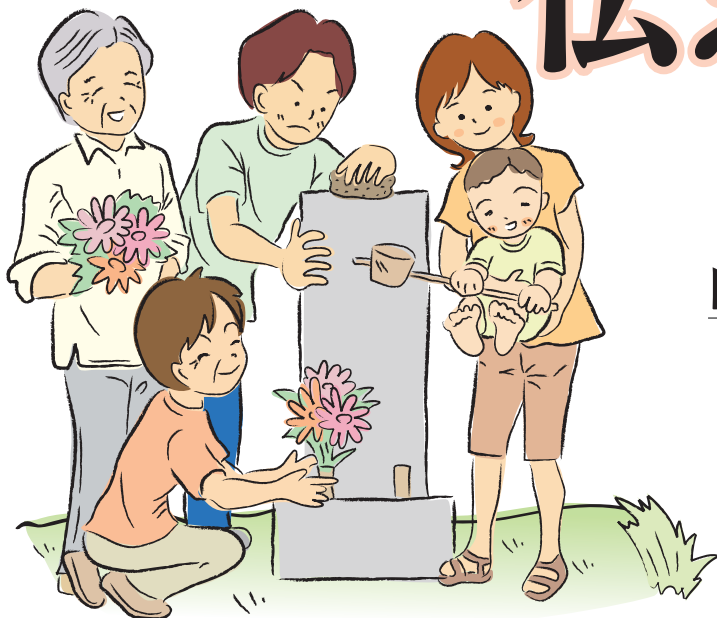


参加
無料

第2回
アクロス福岡

お墓の本当を 伝えるセミナー

講師:小島宏允氏



お墓の本質とはなにか？

日本古来の神仏、神棚、
お墓のはじまりって？

先祖供養ってなに？

よいお墓ってあるの？…

お墓研究の第一人者



小島 宏允 Hironobu Obata

略歴 / 1945年福岡県生まれ。龍谷大学博士課程修了。著書に『日本人のお墓』『日本人とお墓シリーズ全16巻』ほか、学術論文、随筆など。石文化研究所所長。お墓「十人の会」代表。NPO法人柳田國男先祖の話を読む会理事長。

受講者の声

振り返ってみると、私たちの世代と違って、わが子に供養やお墓のことをきちんと話す機会はとても少ないように思いました。今回のお話を聞いて、機会あるごとに伝えていかねばと思った次第です。内容もとてもわかりやすく、帰って早速話題にさせていただきました。

「今度は大切な人と聞きたい」好評の講演です

日時 **3月25日(日)** 14:00~16:00 (開場 13:30)

場所 **アクロス福岡文化情報ラウンジ 2階 第2セミナー室** <http://www.acros.or.jp/>
福岡市中央区天神1丁目1番1号

定員 **先着50名** **参加無料**
満席になり次第締め切りますのでお早めにお問い合わせください。

申し込み 電話・Eメールで、住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数をご記入の上、下記へお申し込み下さい。聴講券をお送りします。



「お墓の本当を伝えるセミナー」
お申し込みは

お申し込みは今すぐ

0120-245400
Eメール: info@kunimatu.com

営業時間 / 9:00~17:00
担当 / 森、古川

創業享保二年 国松石材株式会社
福岡市中央区平和3丁目12-27

「お墓の本当を伝える研究会」係

町名散歩

網場町

第二十二回

博多座から大博通りに向かって五十メートルほどいくと網場町に出ます。

昭和通り、大博通り、明治通り、土居通りに囲まれた区画が網場町です。今回は網場町を散策してみましよう。

土居通りにある旧網場町の石碑には、『綱輪天神を中心に博多最初の商家が集る』と彫刻されています。

網場町の名前は、町の中心より少し西に鎮座する①綱敷天満宮に由来します。綱敷天満宮は、菅原道真を祭る神社で、道真が太宰府に左遷されて博多(袖の湊)に上陸した際、住民たちが敷物として、船の綱を輪にして出迎えたことによりその名前となりました。江戸時代には、綱輪天神と呼ばれており次第に、訛って綱場と呼ばれるようになりました。

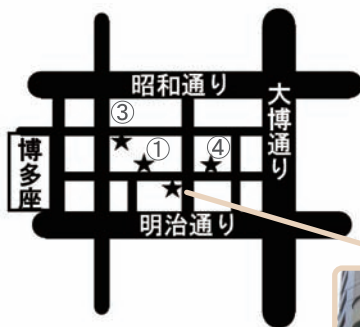


旧網場町の石碑



①綱敷天満宮

明治通りから一本入った角には、昭和十七年創業の本格的なヨーロッパスタイルのトリュフチョコの店、②「チョコレートショップ」があります。



②チョコレートショップ



また、綱敷天満宮を中心に対角線上に、献上・博多織に因んで考案された銘菓「博多献上」で有名な③「ばんぎや菓子舗」もありました。(現在はビルの名前で店舗はありません) 通り添いには、子供に人気の駄菓子玩具問屋④「遠藤商店」があります。博多の商人発祥の町には、甘いものが好きな老若男女を虜にするお店が点在しているようです。

あとがき

網場町は、綱敷天満宮を中心に博多の商家の今昔が見られる、そんな町でした。博多座で観劇を終えたその足で、また、来ようと思えました。——〈お客様係…高田美穂〉

知識の泉

サクラ

ここ数年、お墓に花柄を彫刻する機会が増えてきました。その中でも群を抜いて多いのがサクラです。サクラは、私たち日本人にとって馴染み深い花のようです。



↑最近の墓石で好まれている、桜色をしたサクラ彫刻です。

春、淡いピンクや白の花を咲かせるサクラはバラ科の樹木で、原産地はヒマラヤ近郊。日本では六〇〇種以上もの品種が存在するとされています。最もよく親しまれているソメイヨシノは、エドヒガンとオオシマザクラを交配したもので、江戸時代に開発され明治以降に普及しました。また、日本五大桜の一つである神代桜は、樹齢二千年ともいわれ、サクラの寿命の長さが窺えます。

法的に定められているわけではありませんが、古くから親しまれたサクラは日本の国花とされ、紋章として多く用いられてきました。現在も警察や自衛隊などの紋章に使われています。身近なところでは、百円硬貨の表にサクラがデザインされていますね。

実は石にも通称「桜みかげ」と呼ばれる石があります。岡山県産の「万成石」です。暖かみのあるピンクの色合いをしていて人気があり、墓石やモニュメント等でよく使用されています。

サクラが学び舎に植えられ、入学シーズンに花が咲く情景は、人生の門出を祝ってくれているかのようで幸せな気持ちにさせてくれます。また、一面に花を咲かせ一気に散る様は華やかであり儚くも潔い。花が散った後に再び葉をつけ命を繋ぐとうとする強い生命力も魅力です。その様子を人生と重ねて見る方もいらつしやることでしょう。理屈抜きにして人の心を癒してくれる存在かもしれません。

春は目前。サクラの開花を楽しみに待ちましよう。

- ※①エドヒガン：春の彼岸頃に咲く野生種。
- ※②オオシマザクラ：野生種で丈夫。桜餅はこのサクラの若葉を塩漬けにした物を使用。
- ※③日本五大桜：国が指定した代表的なサクラで、石戸蒲サクラ(埼玉)、三春滝桜(福島)、神代桜(山梨)、狩宿の下馬ザクラ(静岡)、淡墨桜(岐阜)のこと。

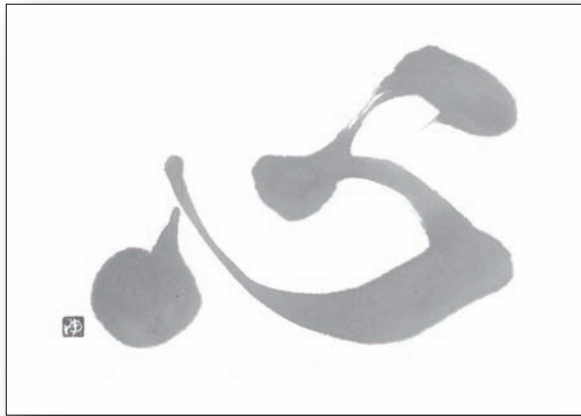
あとがき

サクラの花言葉は優れた美人！なりたいます。——〈製品課…橋口由佳〉

筆跡展

～fudemoji-art～

作品 #007 『心』



●ご覧の実物葉書を抽選で1名様にプレゼントいたします。

返信用ハガキにご希望の旨をお書き添え下さい。

(作品の転用・転売はお断り申し上げます。)

●家名・お好きな言葉を揮毫^{きごう}して墓石や石碑に彫刻しております。ご用命の際は、担当のお客様係までご相談ください。

「心」はたくさんの意味を持つ言葉です。その漢字は臓器としての「心臓」からきたものですが、「心が通う」「心が晴れる」「心が引かれる」「心が乱れる」といった感情や意志を指す言葉が多くあります。「心」は人と人との繋がりの中で動かされるものですね。日本漢字能力検定協会が発表した昨年の漢字は「絆」でした。東日本大震災後よく耳にされたことと思います。「絆」って、「心」をひとつにすることから生まれるのではないのでしょうか。家族や会社、地域、そして日本が同じ目的に向かって、色んな事を乗り越えるためにひとつになることが、もっと大切で必要だと感じています。

たくさんの人の「心」がひとつになり、充実感や幸福感をいっぱいになることを願って書かせて頂きました。

<製品課文字担当：橋口由佳>

3/17(土)~20(火/春分の日)の4日間

春のお彼岸感謝祭

営業時間 9:00~17:00 定休日無し

会場：国松石材平尾店前 駐車場 (屋内トイレ有)

プレゼント 当選者発表

厳正なる抽選の結果、次の方々が当選されました。

- ①商品券5,000円分
岡山 彰様、他3名様
- ②ピワ紅茶
佐倉文次郎様、他4名様
- ③「能古島の片想い」限定CD
篠原泰雄様、辻元恵子様
- ④「しゃぼん玉」ハンカチ
平坂雪恵様、他4名様
- ⑤松栄堂のお香スティック
三石信雄様、他9名様
- ⑥ポケット般若心経(御守)
吉富昇一郎様、他4名様
- ⑦「赤とんぼ」一筆箋
大竹かず様、他9名様
- ⑦書作品#006『生』
松下征雄様

お墓についての素朴な疑問やご相談ごと、新聞の感想など、同封の返信ハガキにてお寄せください。一つ一つ大切に拝読させていただきます。お墓の点検事のご記入もお忘れなく！

(※お便りコーナー：2ページへ)

第8回 秋のリベンジ! 初夏のハイキングのお誘い

目的地：九重 扇ヶ鼻 (1.698M)

天候による中止で涙をのんだ第7回秋の松ぼっくりハイキング。リベンジで同じコースとなっております。今回こそ! 扇ヶ鼻へ再挑戦いたしましょう。九重連山の一角、時期が合えば可憐なミヤマキリシマがみられます。

開催日：平成24年5月19日(土)

コース：JR博多駅筑紫口～扇ヶ鼻～三愛高原ホテル～JR博多駅筑紫口
午前8:00 午後5:30

歩行時間：往復4時間(途中昼食が入ります) 傾斜は緩やかで少し歩くコース

参加費：4,000円(税込) ※昼食弁当、温泉入浴料、バス代、ガイド代込み

募集人員：38名(※定員に達し次第締め切らせて頂きます)

お申込み：同封の葉書にてお申し込み下さい。

※参加人数と連絡がつく電話番号を必ずお知らせ願います。

締め切り：平成24年4月10日(火) 必着

お申込み葉書の先着順となっております。お早目の投函をお勧めいたします。

お友達、ご夫婦、ご家族お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

勿論お1人様も大歓迎です! 御遠慮なくお声かけくださいませ♪

お問合せ：☎ 0120-245400 担当：高田美穂 / 中西和磨